

**2004年3月期（第71期）  
決算説明会**

**株式会社フジユニバース**

**2004年 6月 16日**

<http://www.uvc.co.jp/>



# 目 次

- ・ 2004年3月期決算の概要
- ・ 2005年3月期業績予想
- ・ 2004年度の重点課題と取組内容



# ・ 2004年3月期決算の概要



## 連結対象子会社

会社名		資本金	当社の 持株比率	主要な事業内容
国内	株式会社アクロス	25百万円	100%	自動車部品の製造・販売
	株式会社遠州コム	10 "	100%	二輪部品のメッキ
	株式会社ウエストレイク	15 "	100%	容器洗浄及び物品販売
	富士協同運輸株式会社	10 "	40%	輸送事業
海外	ユニバンスINC.(米国)	19百万US\$	100%	自動車部品の製造・販売
	PT.ユニバンスインドネシア	6百万US\$	75%	同上

持分法適用会社

アイエス精機株式会社 (持ち株比率13.3%)  
株式会社富士部品製作所 (持ち株比率13.6%)



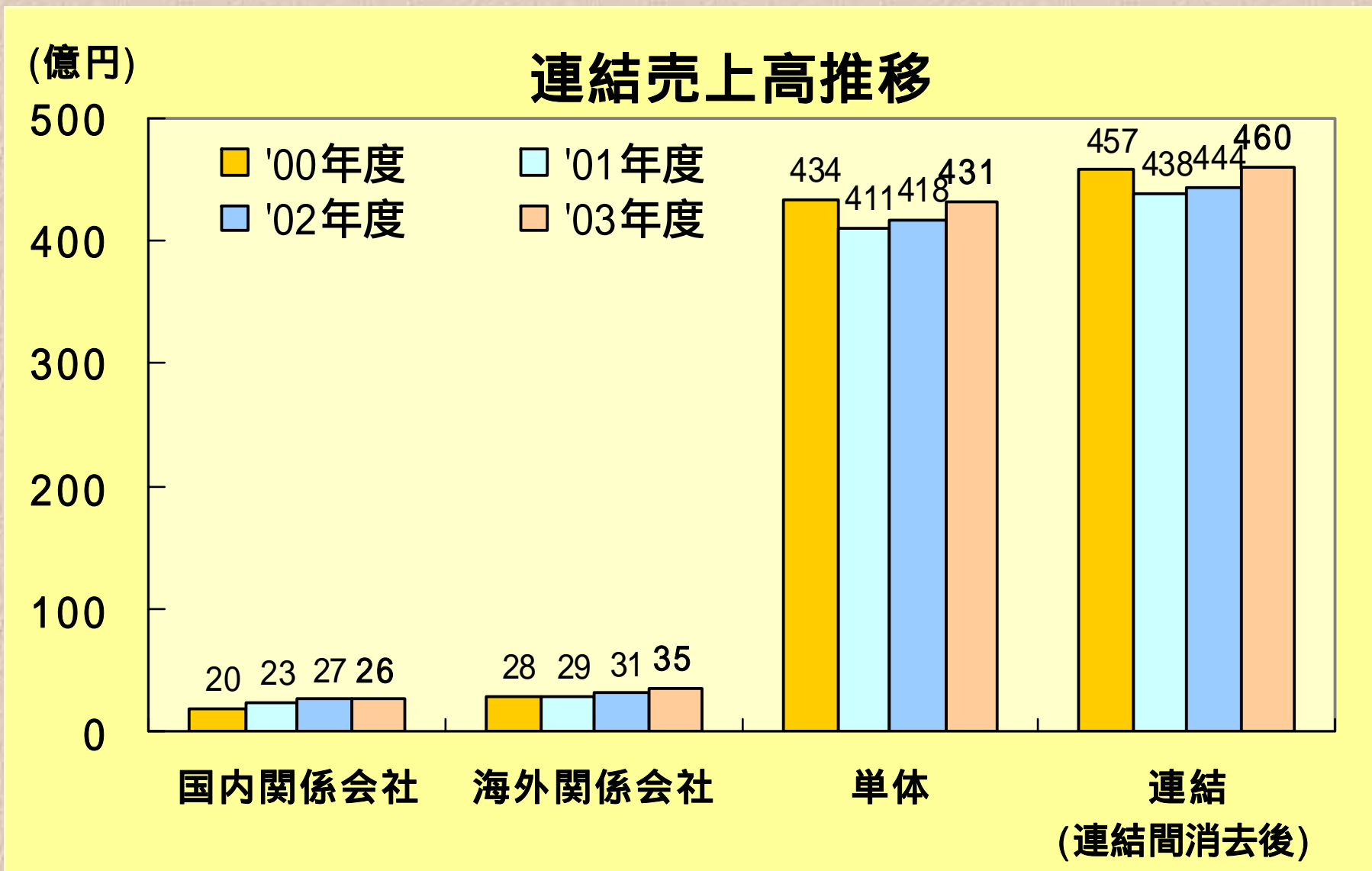
# 経営成績

(単位：億円)	2002年度			2003年度		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	444.0	418.3	1.06	460.8	431.8	1.07
			計画	440.0	420.0	1.05
営業利益	8.7	4.8	1.81	10.0	6.4	1.56
			計画	9.0	6.5	1.38
経常利益	11.3	7.4	1.53	11.5	8.3	1.39
			計画	12.0	8.5	1.41
当期利益	5.4	1.9	2.84	8.8	3.8	2.32
			計画	5.5	3.0	1.83

連結、単体 経常利益ベース：増収増益 当期利益ベース：増収増益

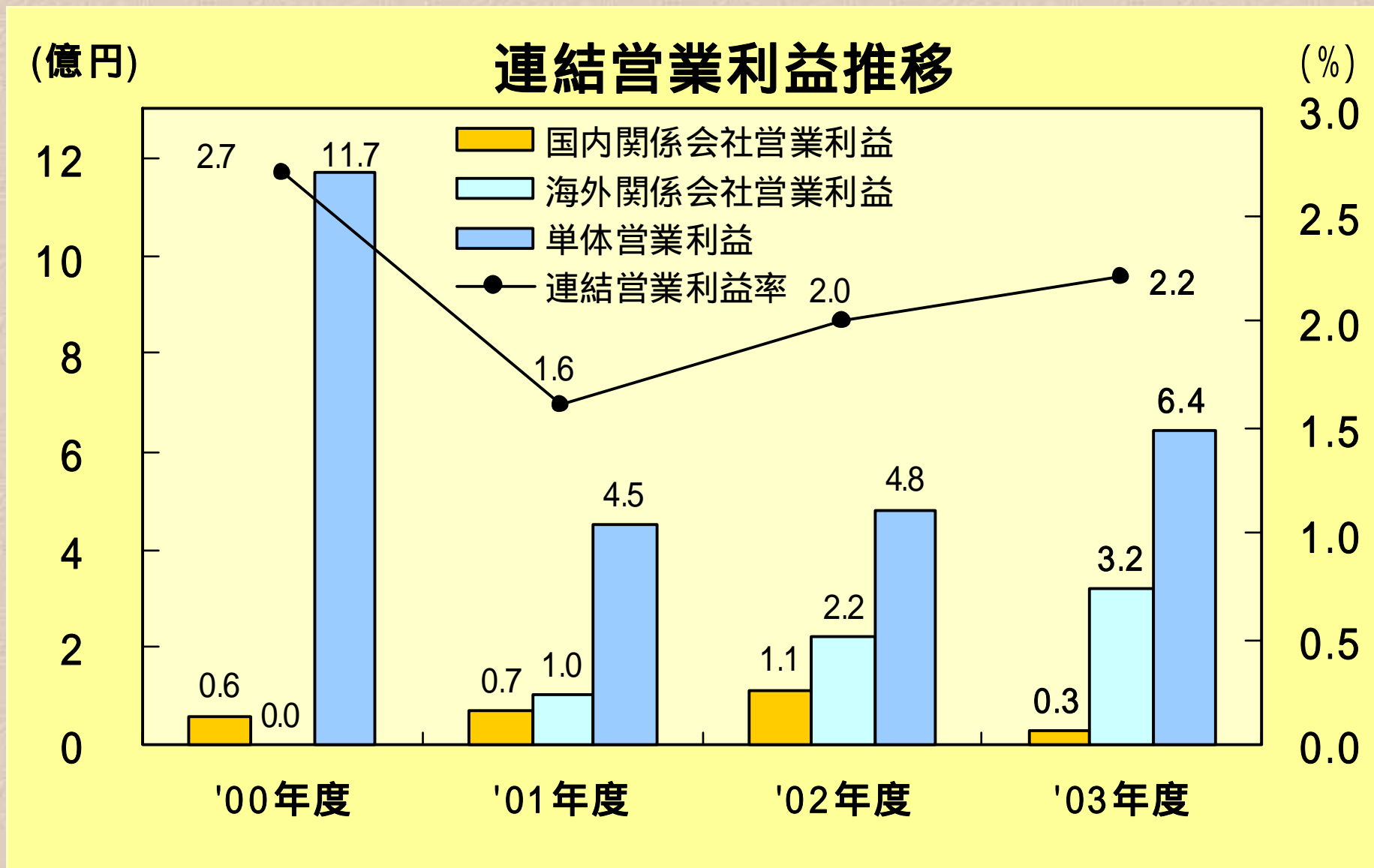


# 経営成績 連結売上高



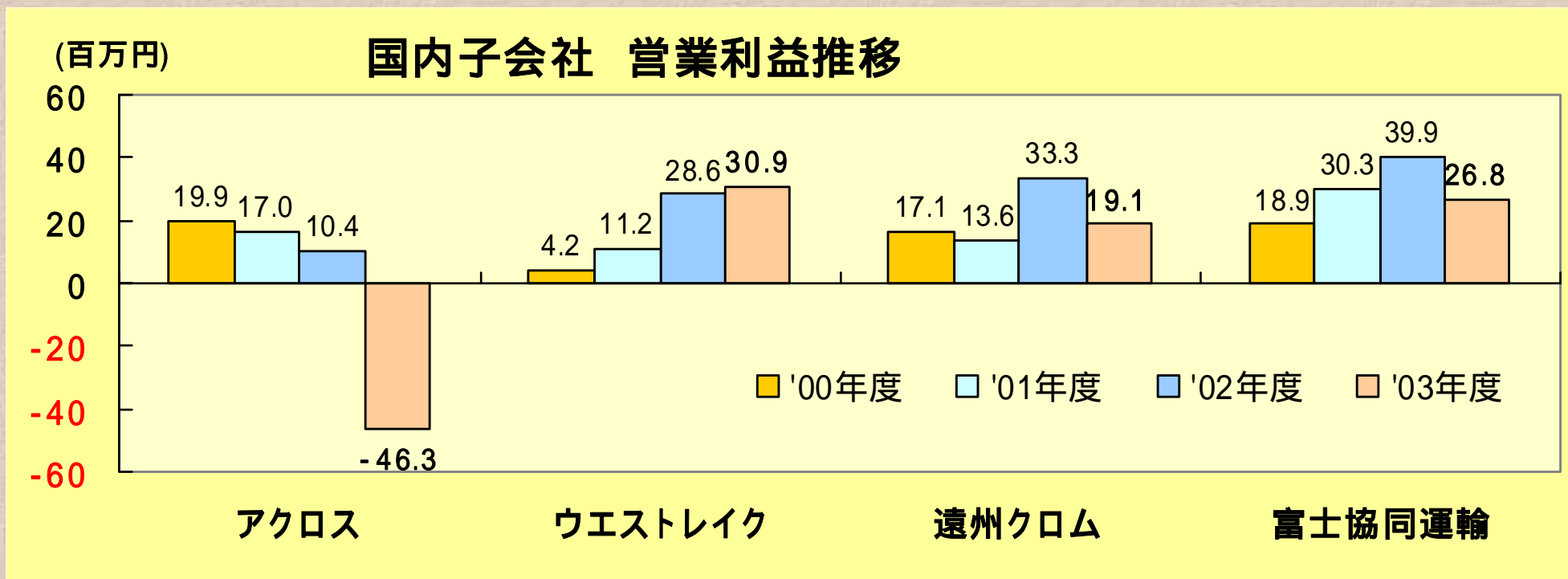


# 連結営業利益推移





# 国内子会社の利益状況



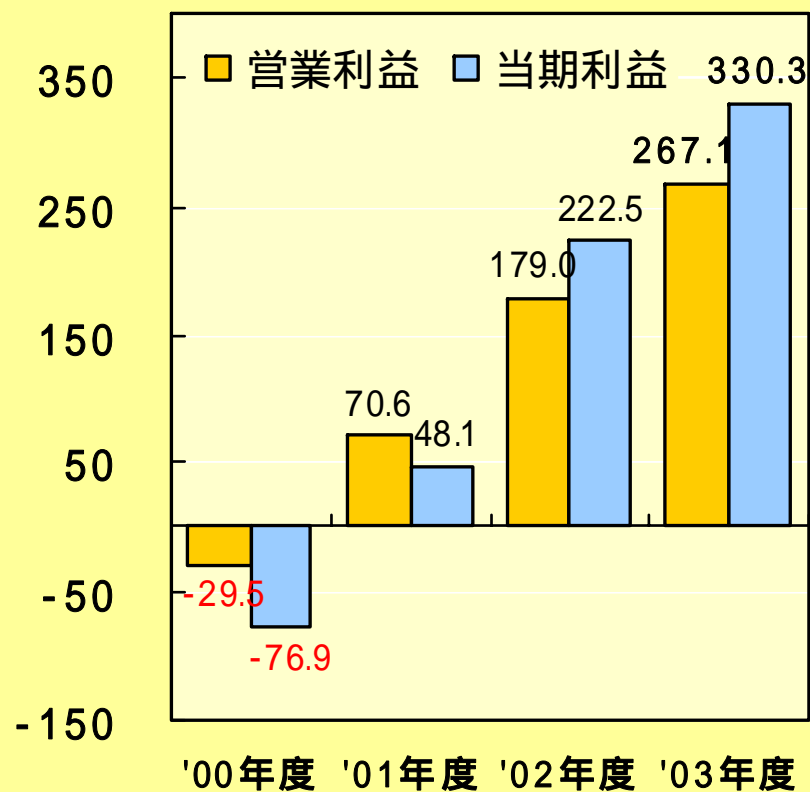
- ・アクロス : 合理化の遅れ、製品構成の変化
- ・ウエストレイク : ユニバンス圏外への業務拡大
- ・遠州クロム : 2輪部品のメッキ減少
- ・富士協同運輸 : 単価引下げによる売上高減少



# 海外子会社の利益状況

## 米国 UNIVANCE INC.

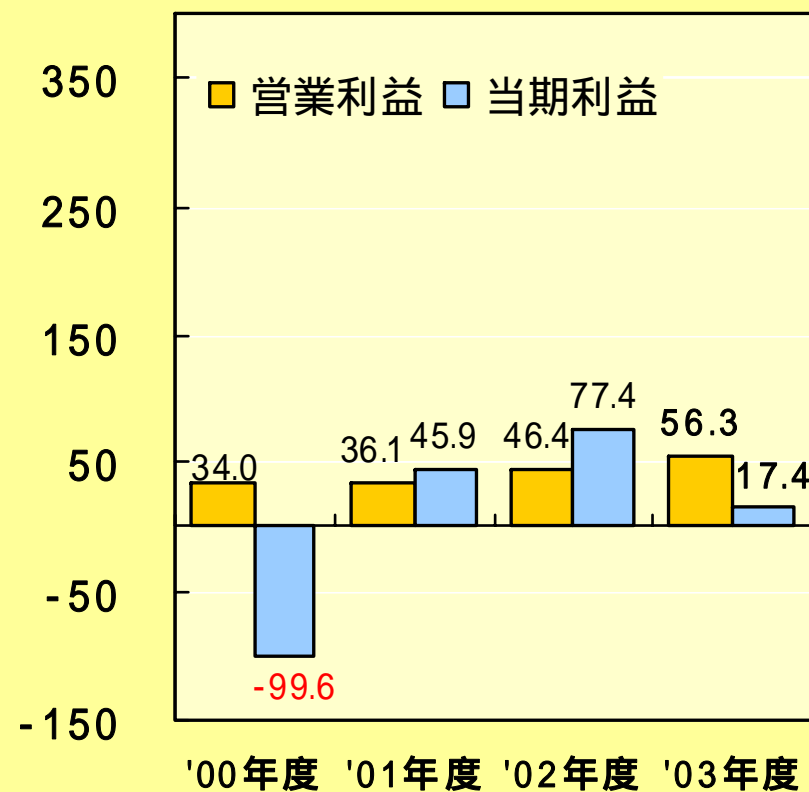
(百万円)



**営業利益** 売上増：348百万円(円高影響減：250百万円)  
 償却費減：24百万円  
**当期利益** 支払利息減：10百万円、  
 繰延税金資産増：102百万円

## P.T.UNIVANCE INDONESIA

(百万円)



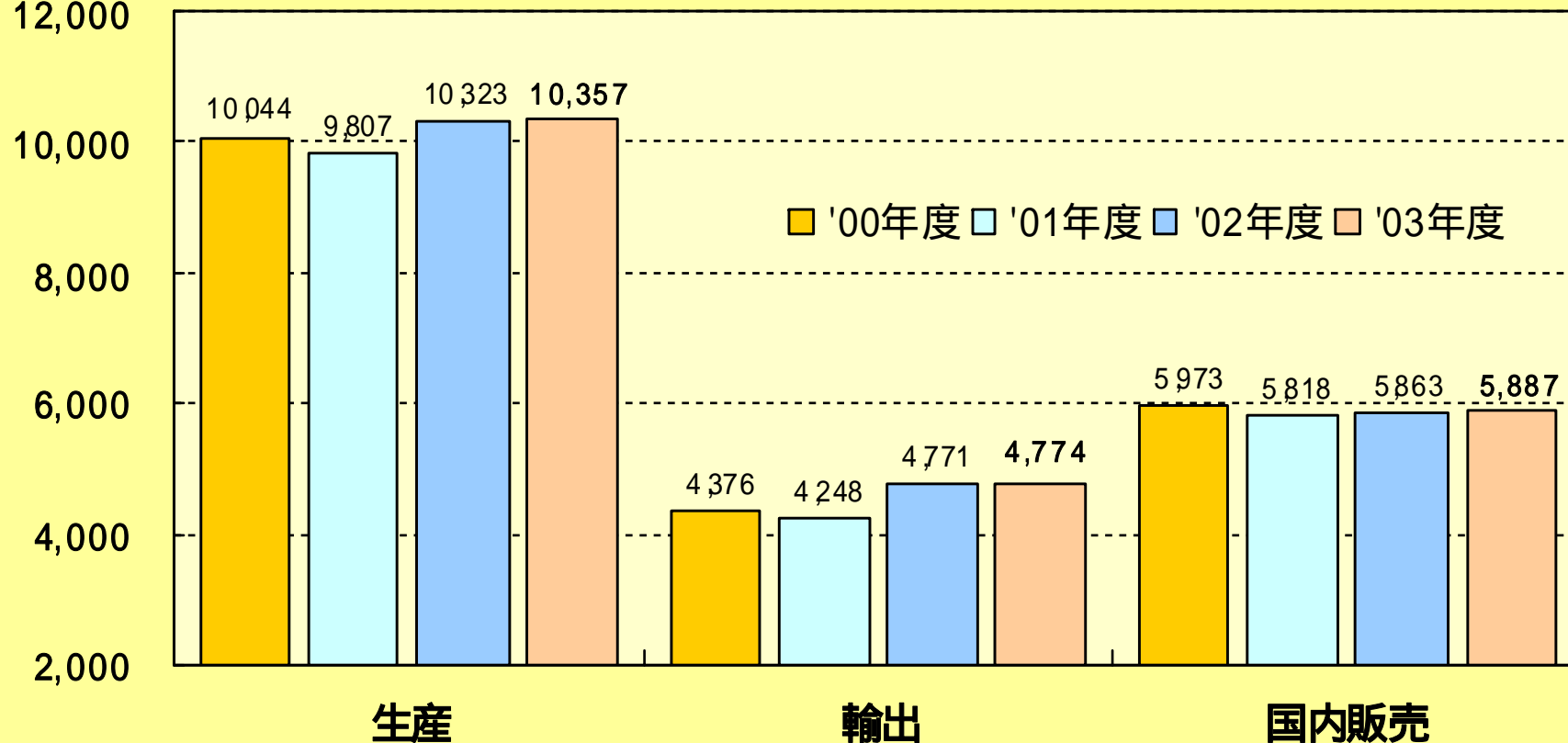
**営業利益** 売上増：37百万円  
**当期利益** 親子借入金為替評価損：36百万円



# 国内の自動車生産、輸出、販売状況

(千台)  
12,000

(資料:日本自動車工業会)



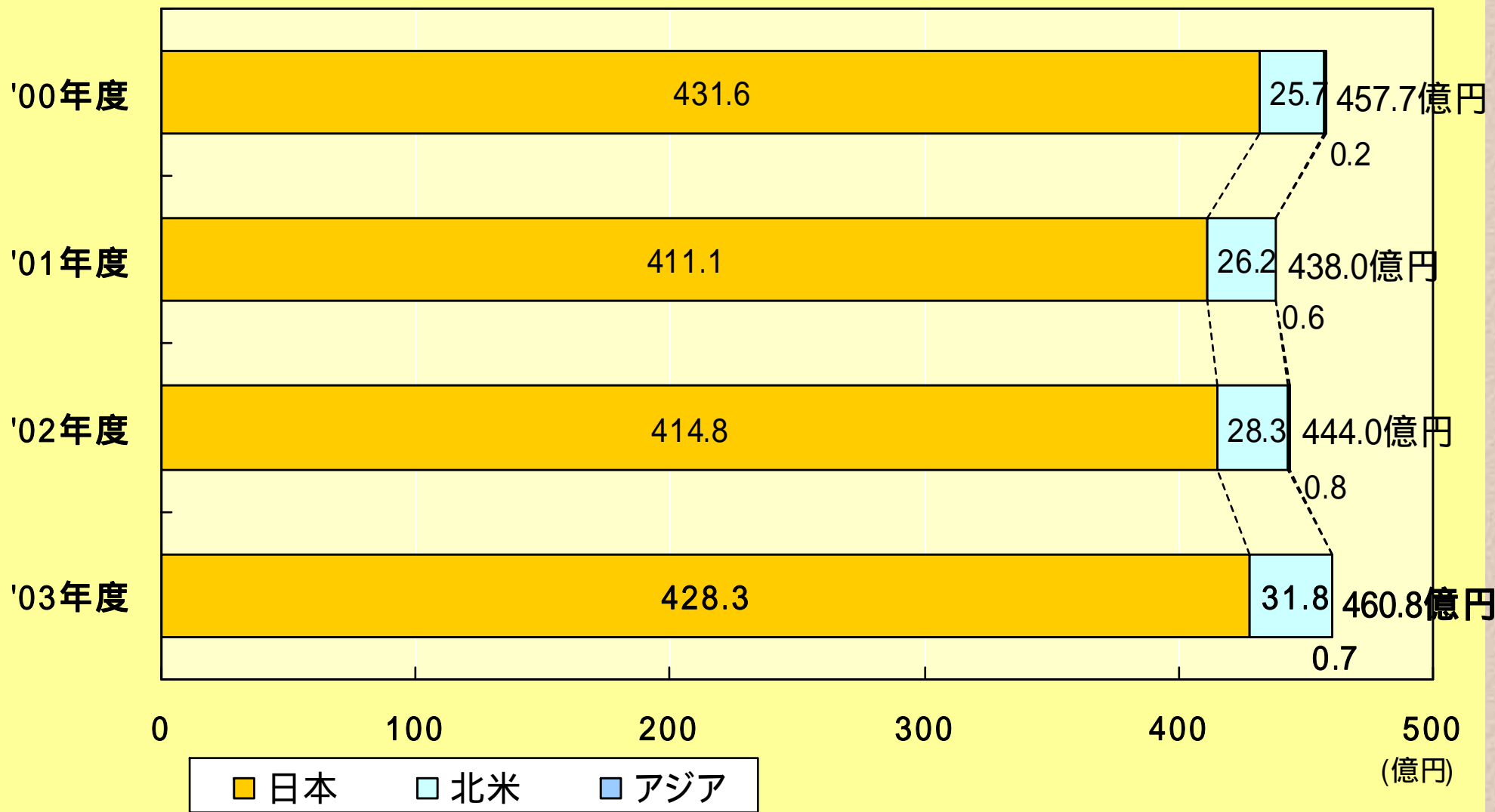
国内販売、輸出共に対前年比微増



国内生産:2年連続の1,000万台の大台は、維持

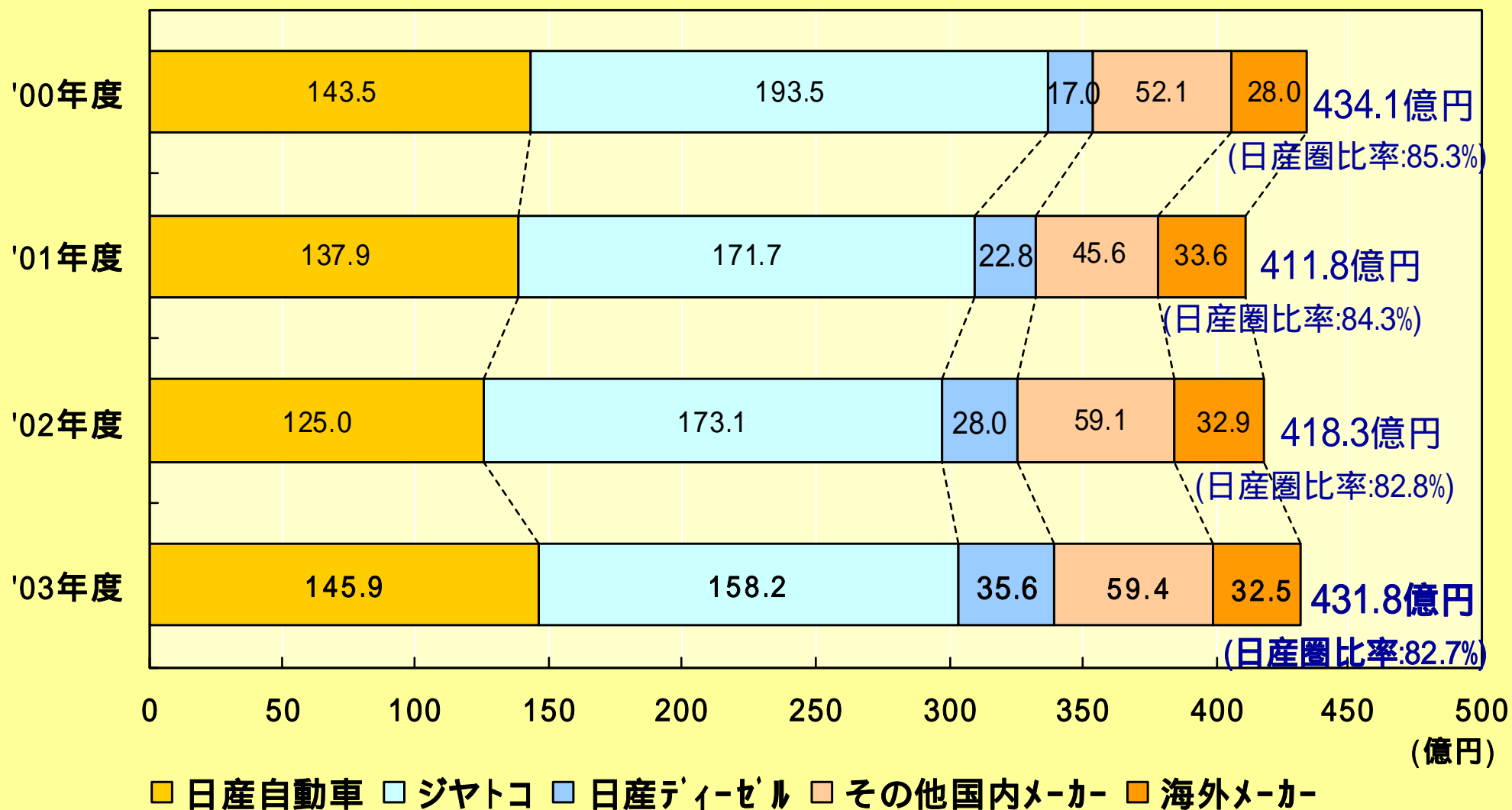


# 連結売上高比較(地域別)



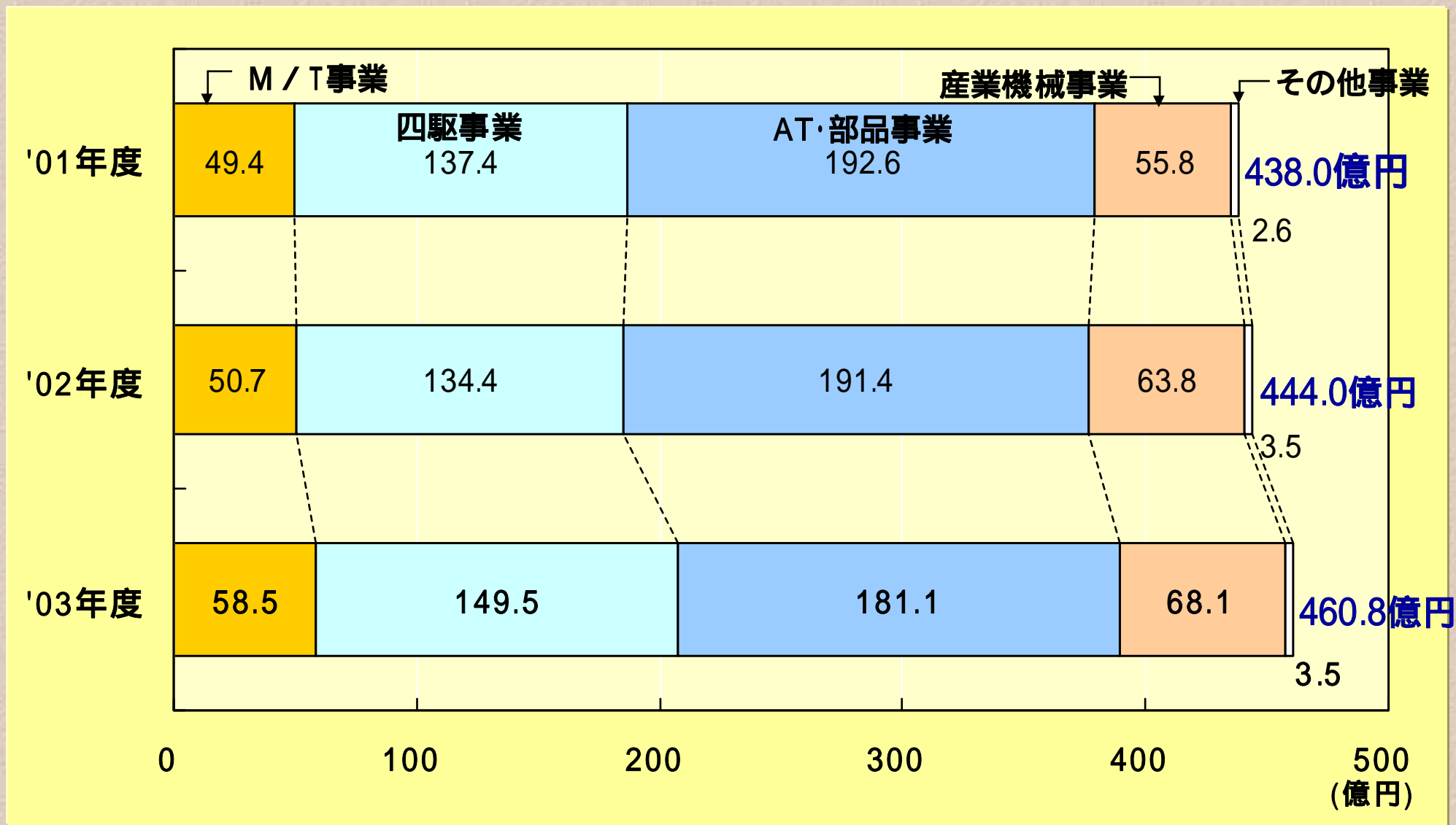


# 取引先別売上高比較(単体)





# 連結事業別 売上高比較

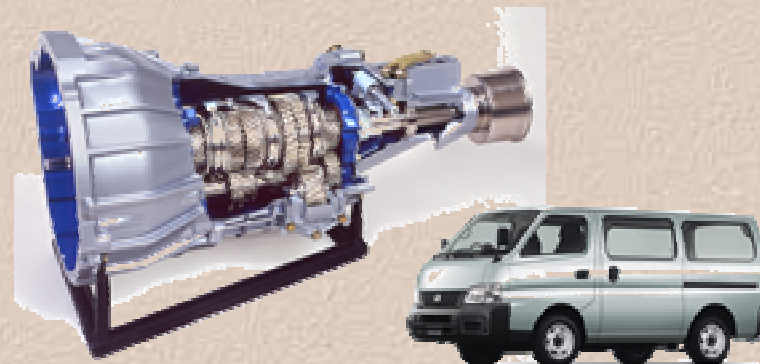




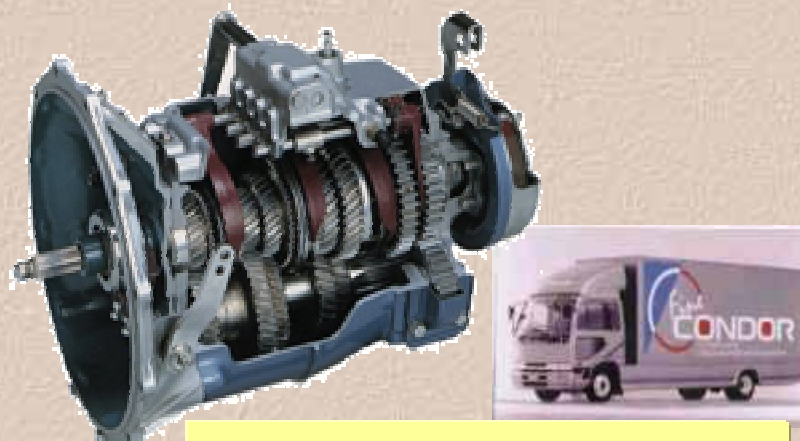
## M / T事業 主要製品



R V車用



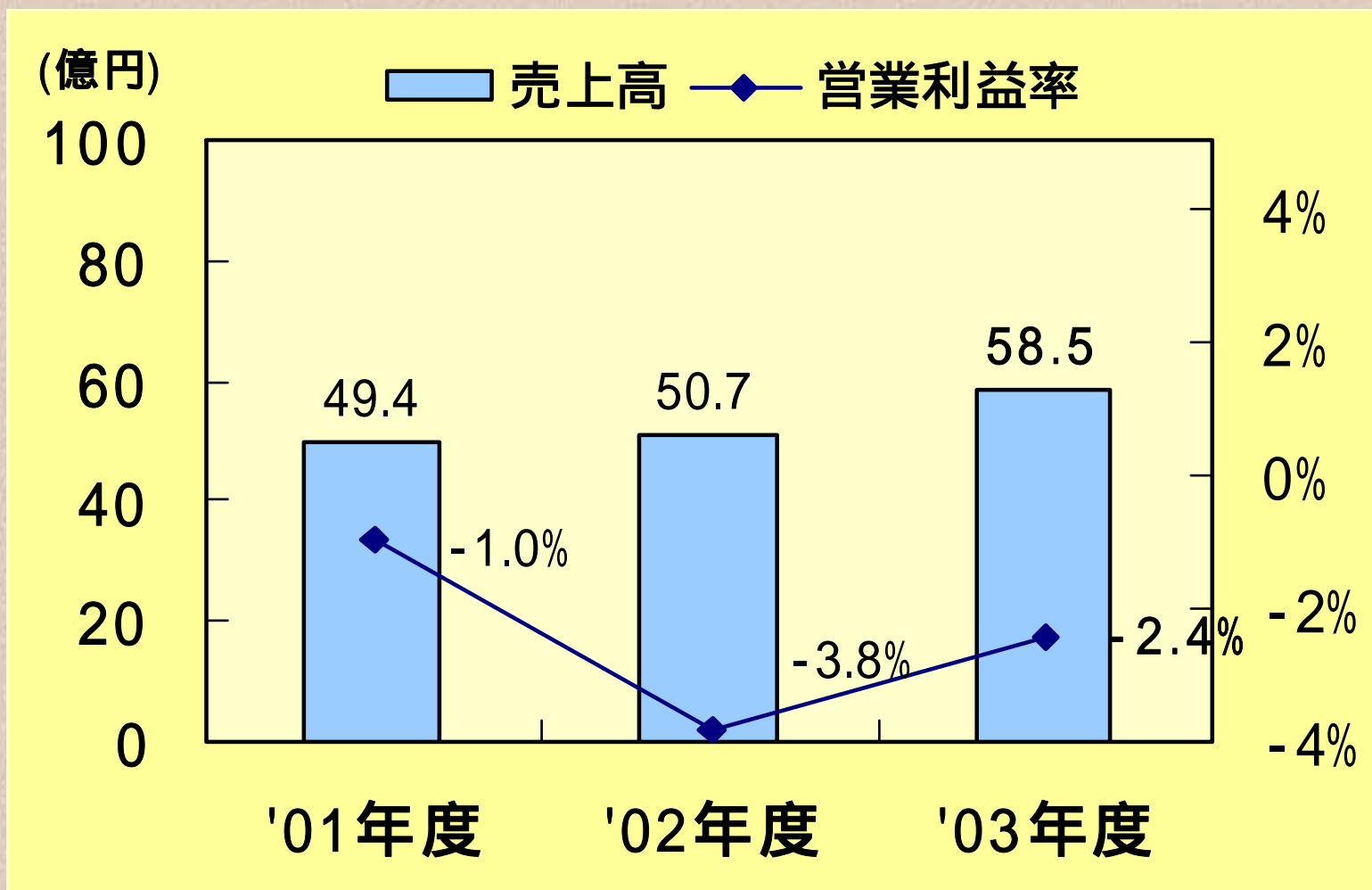
商用車用



中型トラック用



## M / T事業売上高(連結)



- ・ 排気ガス規制の買い換え特需による日産ディーゼル向け小・中型車用M / Tの増加
- ・ **新型M / Tの開発費の増加**



# 日本国内 当社T / M搭載 日産ディーゼル車両販売推移

(台)

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

資料：Marklines世界の自動車販売台数レポート

- バス
- 大型トラック
- 小中型トラック

7,463

10,978

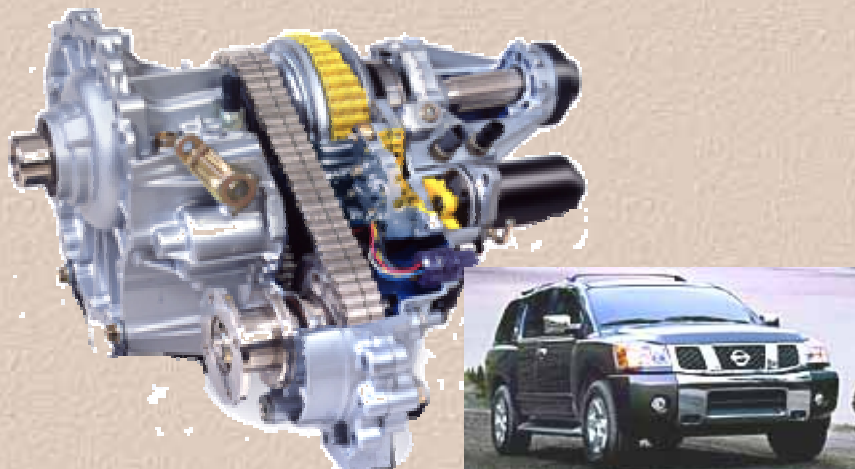
当社M  
T搭載

2002年

2003年



## 四駆事業 主要製品



SUV用トランスファーユニット



乗用車用トランスファーユニット



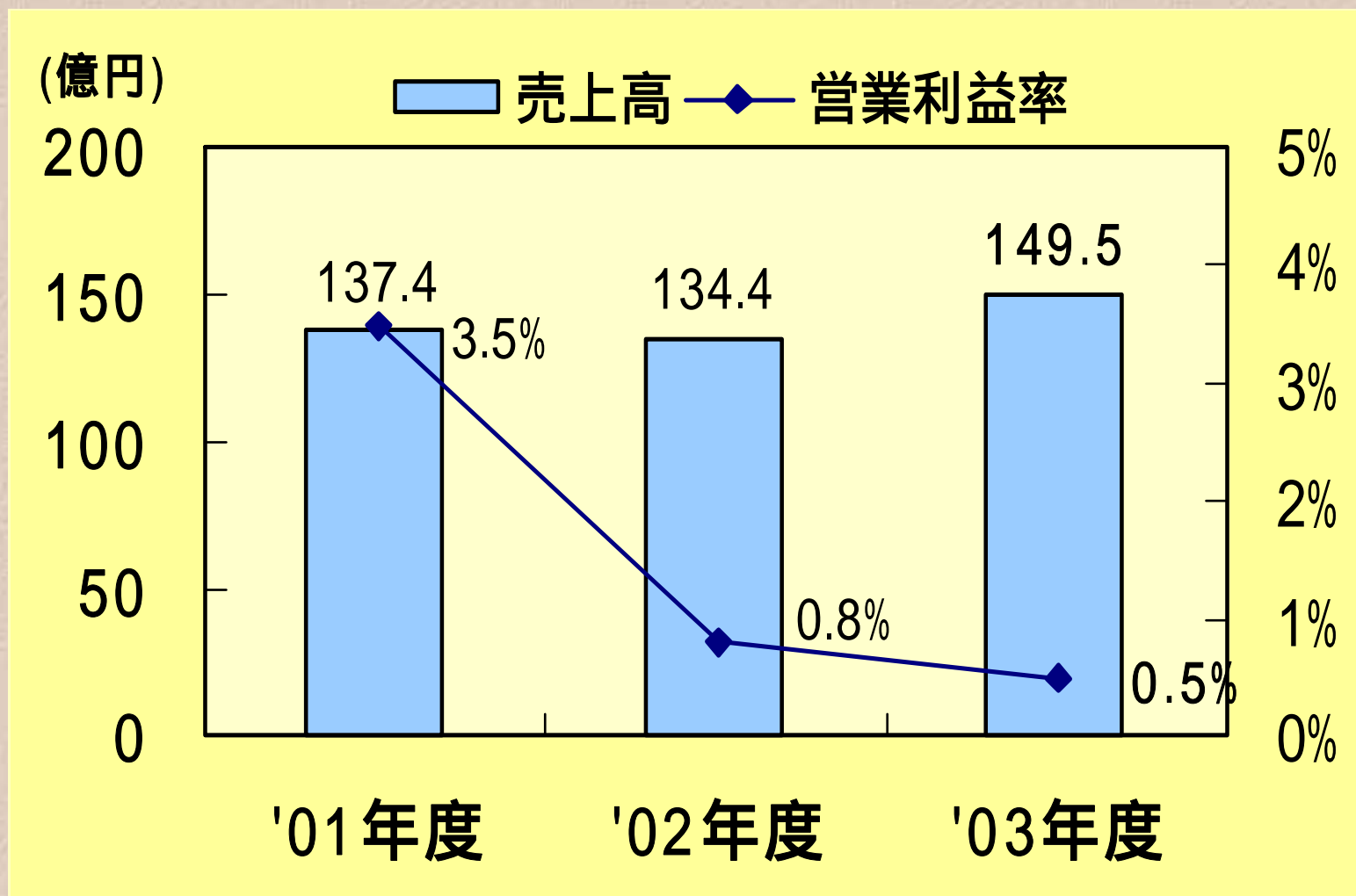
四輪バギー用デフユニット



駆動力配分装置 AXC










## 四駆事業売上高(連結)



- ・ 日産自動車北米向けSUV車用トランスファーユニットの増加



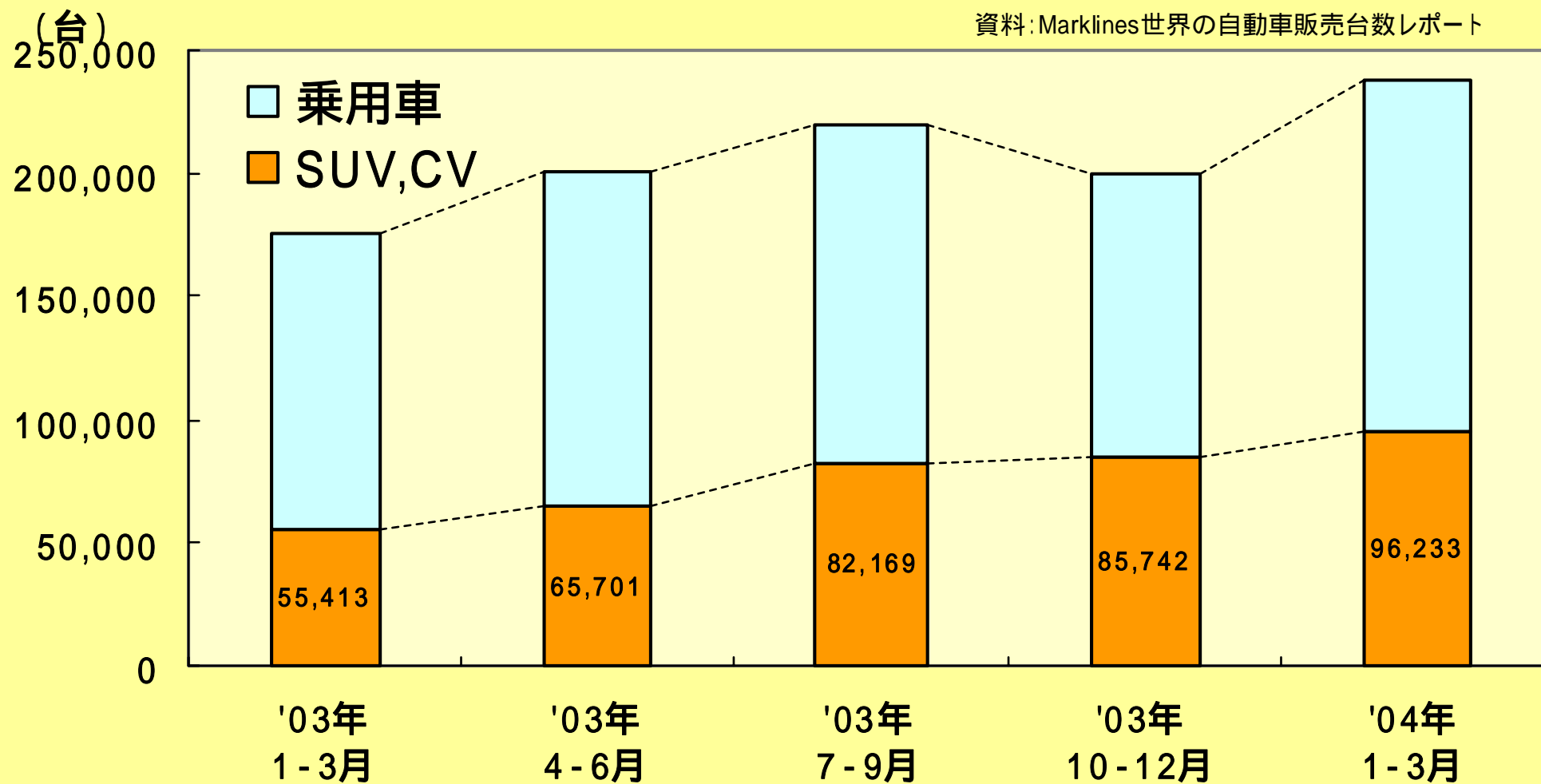
# 米国市場 日産SUV, CV当社トランスファーユニット搭載車 両

車名	'85年	'90年	'95年	'00年	'03年
Frontier		TX10			
Pathfinder		TX10	ATX14A		
QX4				ATX14A	
Xterra				TX10	
Fx45 / 35					ETX13B
QX56					ATX14B
Armada					ATX14B
Titan					TX15A

近年開発された  
新型トランスファーユニット  
搭載車種

# 米国市場 日産車両販売推移

資料: Marklines世界の自動車販売台数レポート



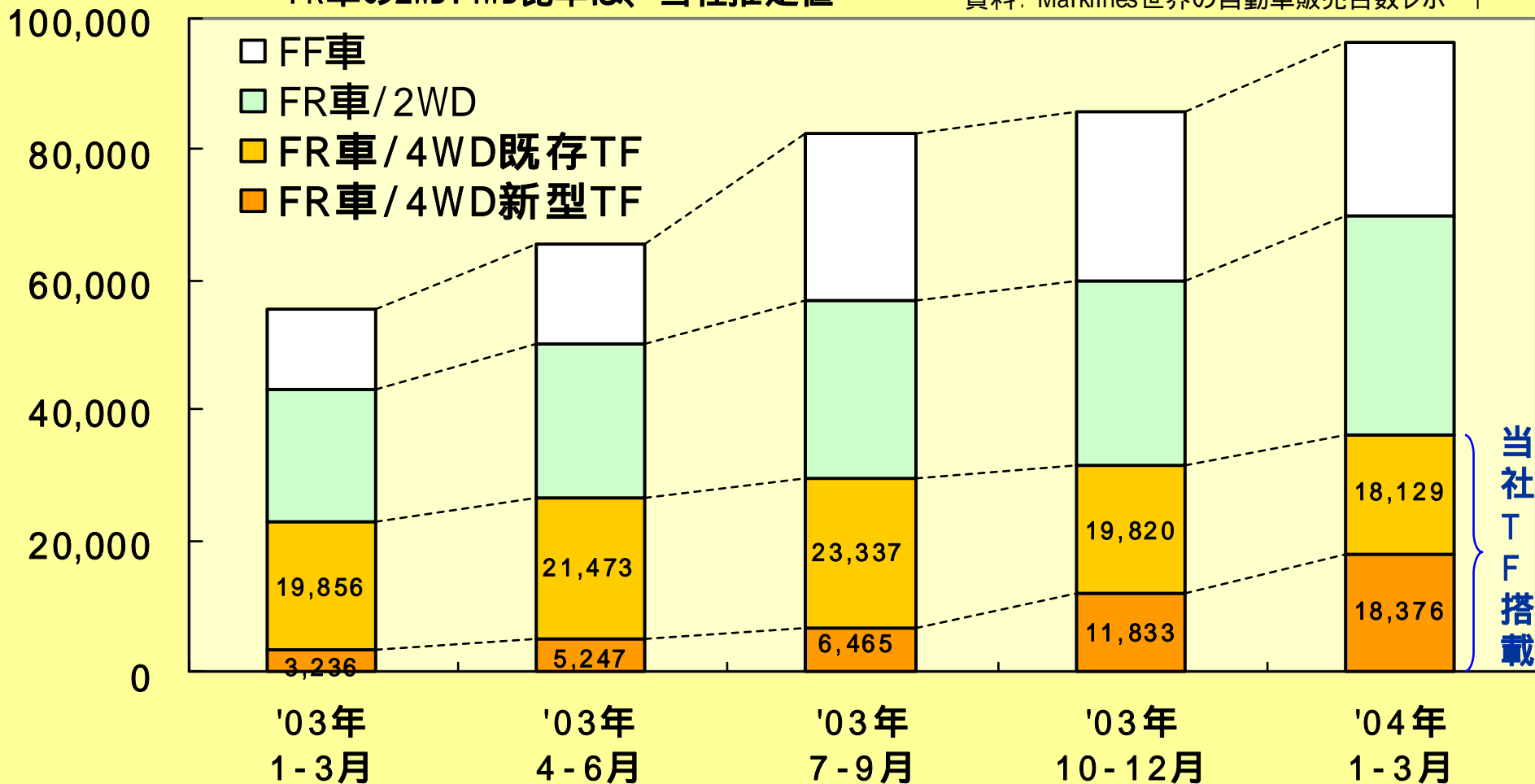


# 米国市場 当社トランスファーユニット搭載 日産SUV, CV車両販売推移

(台)

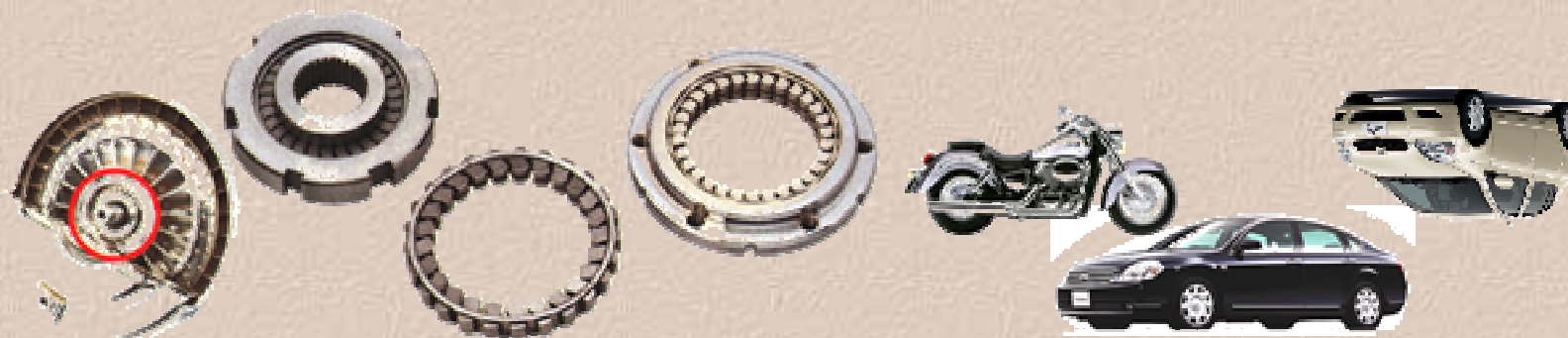
FR車の2WD:4WD比率は、当社推定値

資料: Marklines世界の自動車販売台数レポート





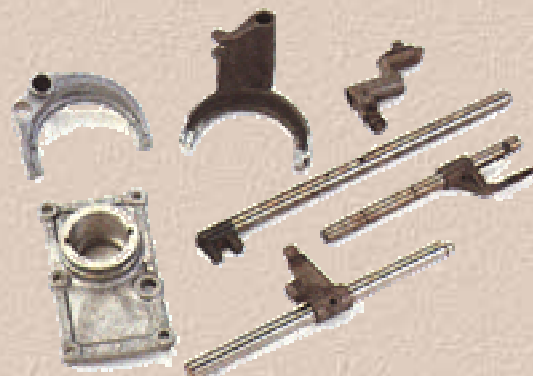
# AT・部品事業 主要製品



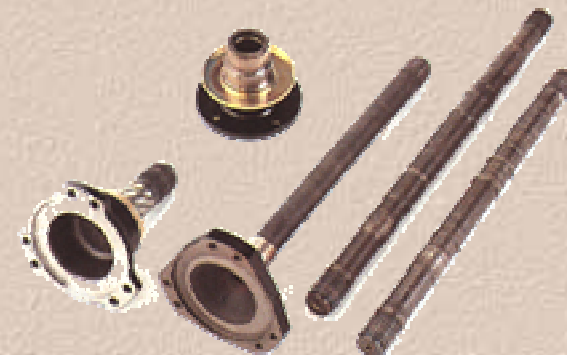
オーバーランニングクラッチ D C F



A T 部品



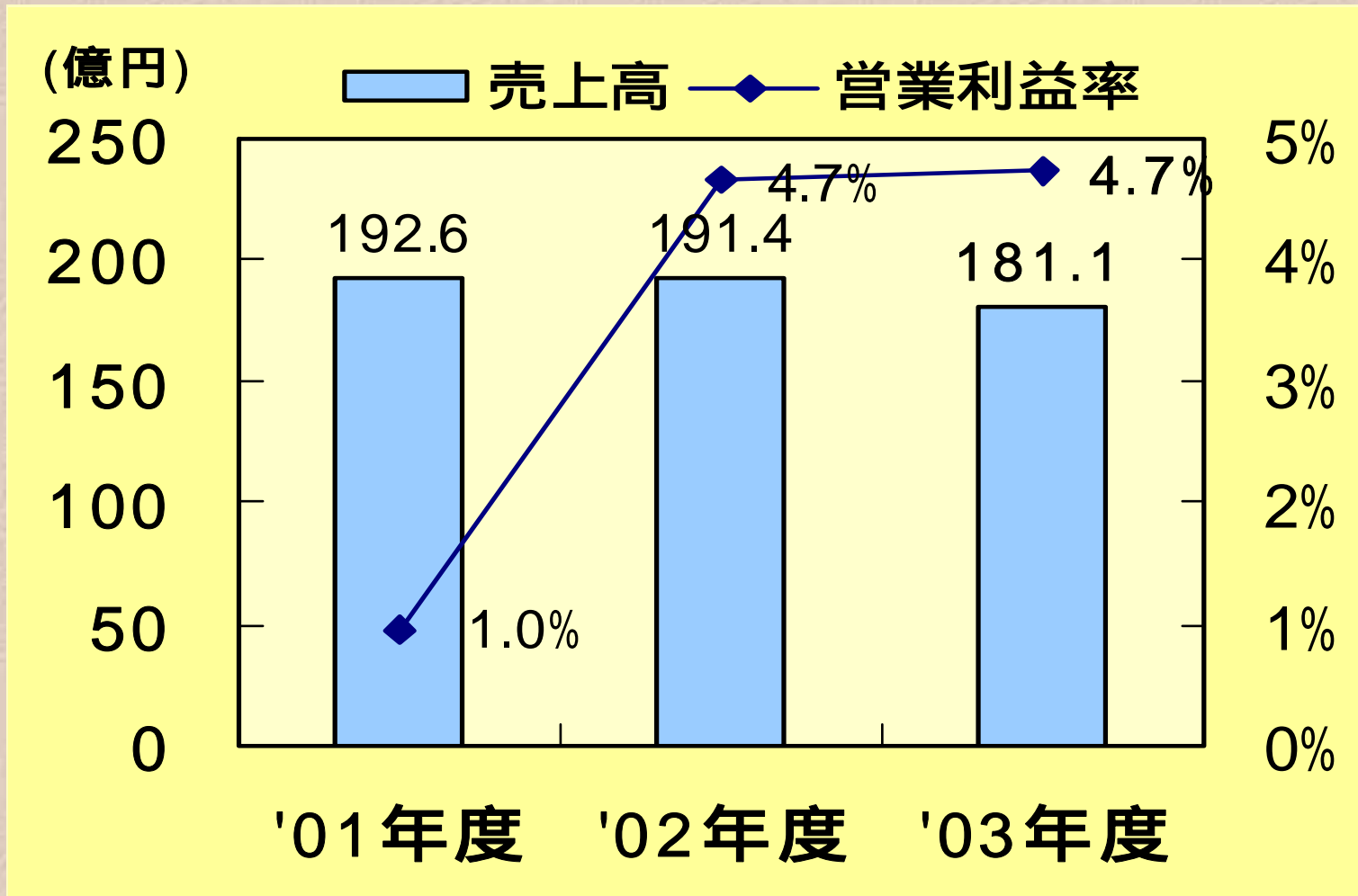
M / T 部品



デフ、アクスル部品



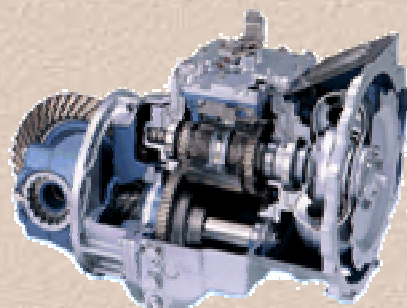
## AT・部品事業売上高(連結)



・ ATユニット部品の減少



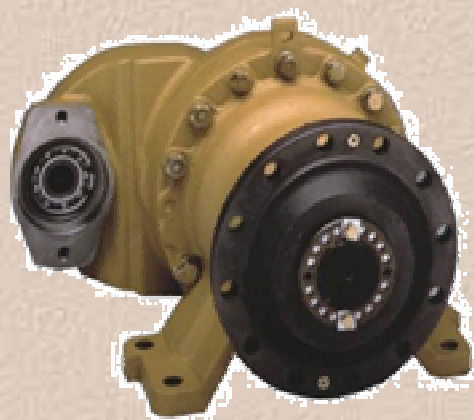
# 産業機械事業 主要製品



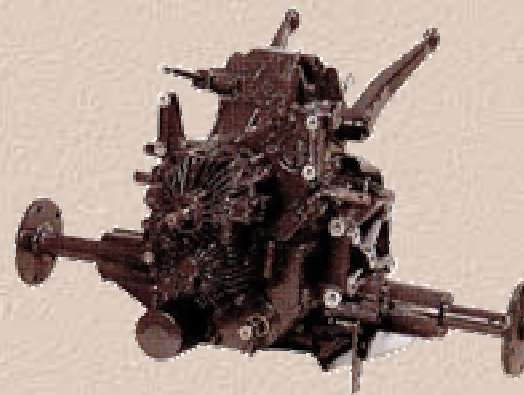
フォークリフト用トランスミッション



農業トラクター用トランスミッション



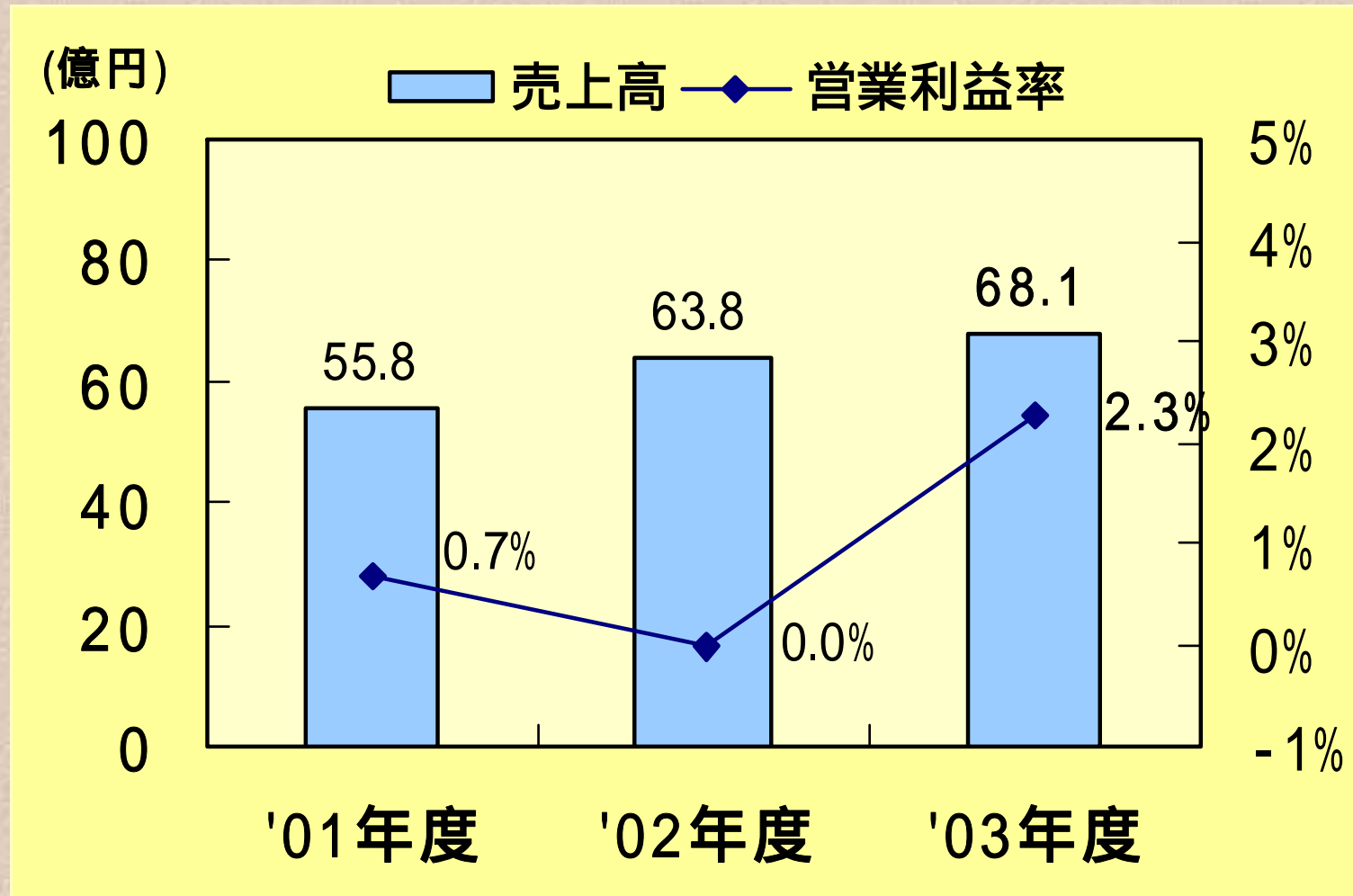
コンクリートミキサー車用減速機



芝刈り機用トランスミッション



## 産業機械事業売上高(連結)



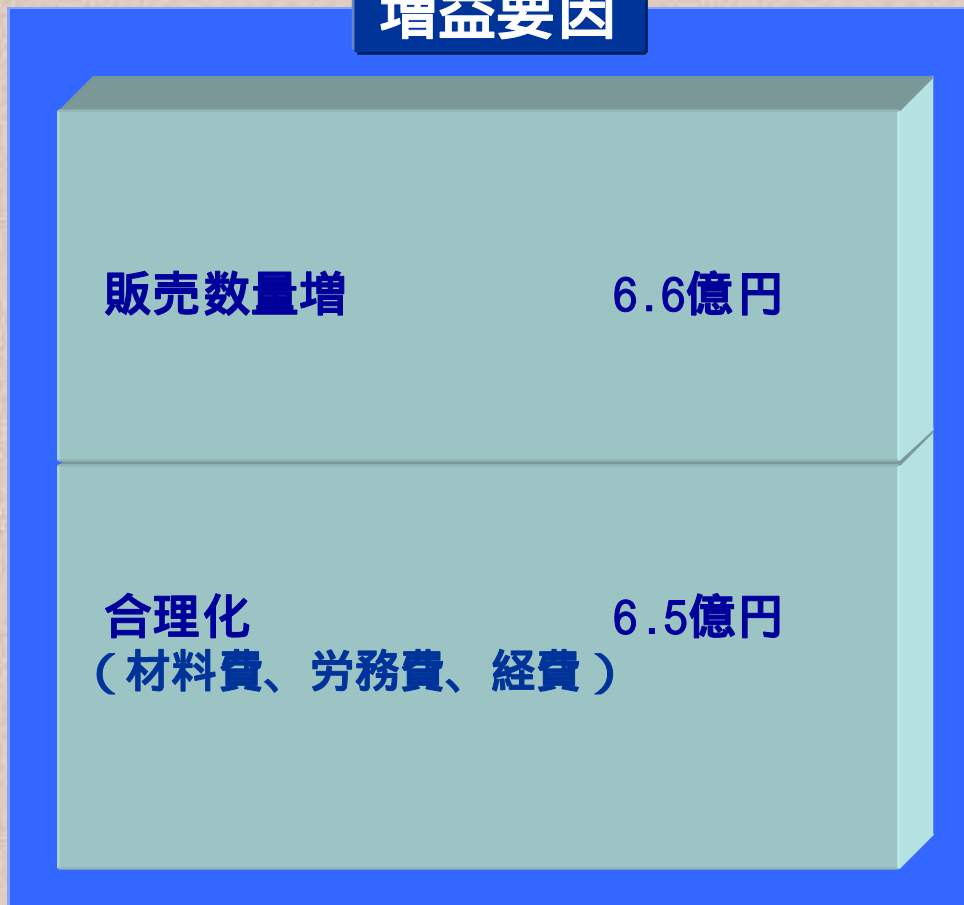
- ・北米経済の景気回復による大型トラクター用トランスミッション、フォークリフト用トランスミッション、芝刈機用トランスミッション増加
- ・中国市場の急激な需要拡大によるコンバイン用トランスミッション増加



# 損益分析 (連結)

経常利益ベース (2002年度と2003年度の比較)

## 増益要因



合計 13.1億円

## 減益要因

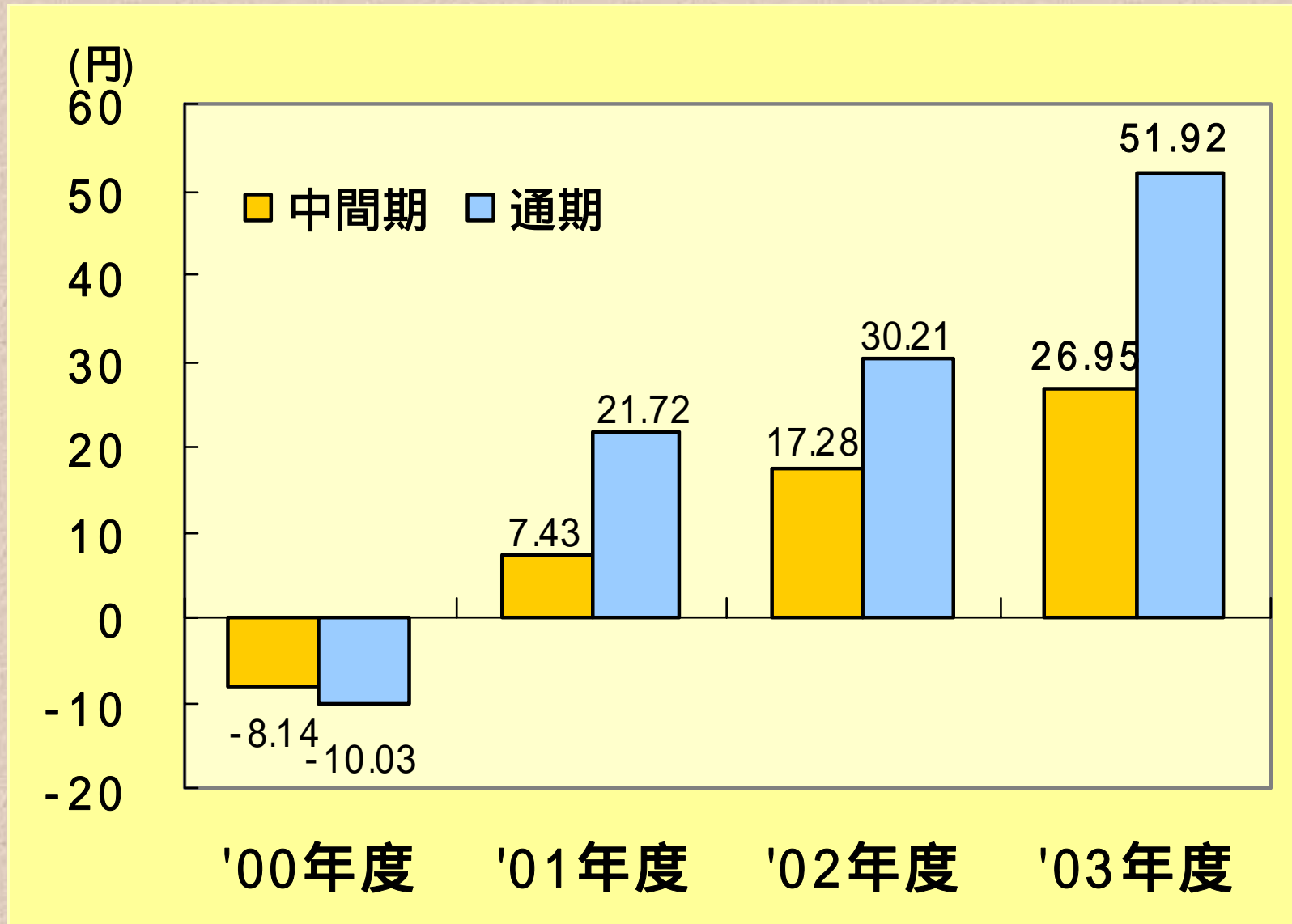


合計 12.9億円

経常利益増 0.2億円

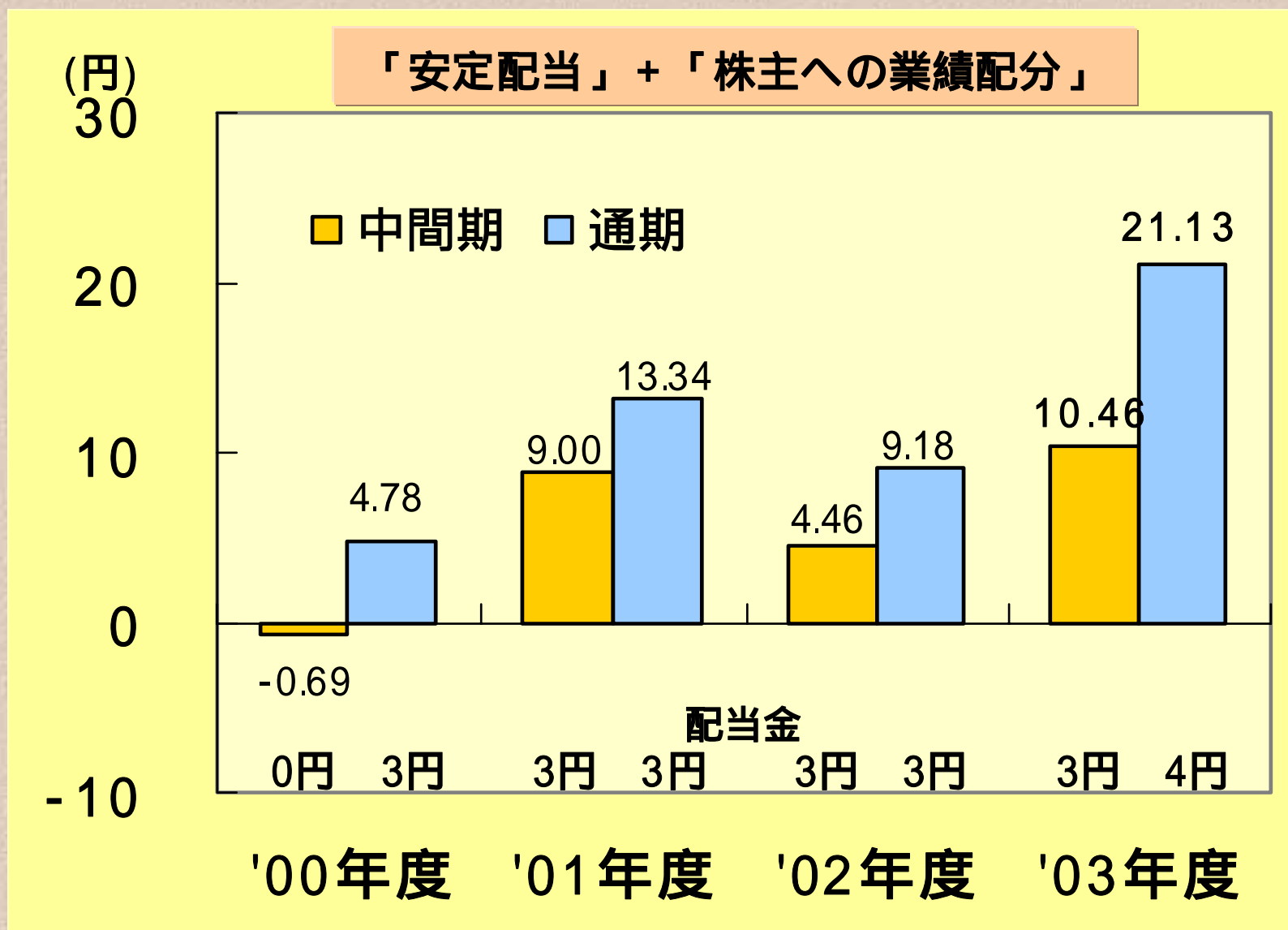


# 1株当たり当期利益推移(連結)





# 1株当たり当期利益推移(単体)






# 貸借対照表(連結)

(単位：億円)

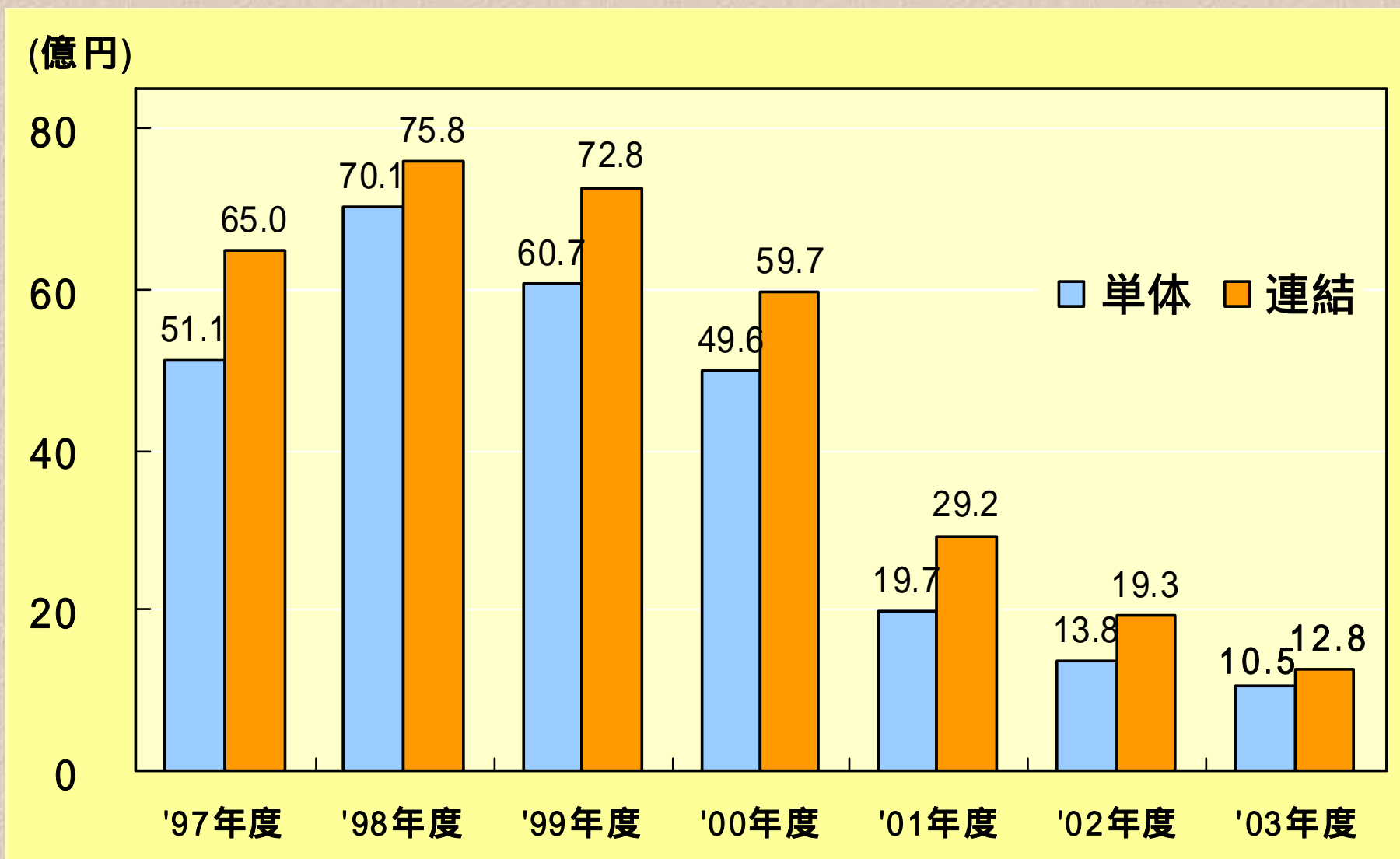
資産				負債・資本			
科目	'03/03	'04/03	増・減	科目	'03/03	'04/03	増・減
<b>流動資産</b>	115.2	134.5	19.2	<b>流動負債</b>	101.9	115.6	13.7
現金・預金	6.5	8.5	1.9	買掛金等	57.1	67.5	10.3
売掛金等	74.9	89.9	14.9	未払費用他	36.6	43.0	6.3
棚卸資産	23.5	23.3	0.1	短期借入金	8.0	5.0	2.9
その他流動資産	10.1	12.6	2.5	<b>固定負債</b>	39.2	39.5	0.2
<b>有形固定資産</b>	119.0	117.7	1.2	長期借入金	11.3	7.8	3.5
<b>無形固定資産</b>	4.6	5.0	0.3	退職給付引当金他	27.9	31.7	3.7
<b>投資等他</b>	28.3	32.5	4.1	<b>少数株主持分</b>	1.4	1.5	0.0
				<b>資本</b>	124.7	133.2	8.4
				(うち当期利益)	(5.4)	(8.8)	(3.2)
<b>資産合計</b>	267.4	289.9	22.5	<b>負債・資本合計</b>	267.4	289.9	22.5



# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)	'02年度	'03年度	主な要因
営業 C/F	25.8	23.7	税金等調整前当期利益:11.2億円,減価償却費:19.1億円 売上債権増: 15.3億円,仕入債権増:10.5億円
投資 C/F	17.4	13.6	有価証券売却:6.5億円,有形固定資産取得: 19.3億円
フリー C/F	8.4	10.1	
財務 C/F	10.2	8.0	借入金返済: 6.1億円
C / F合計	1.9	1.9	
現預金残高	6.2	8.1	

# 有利子負債の推移



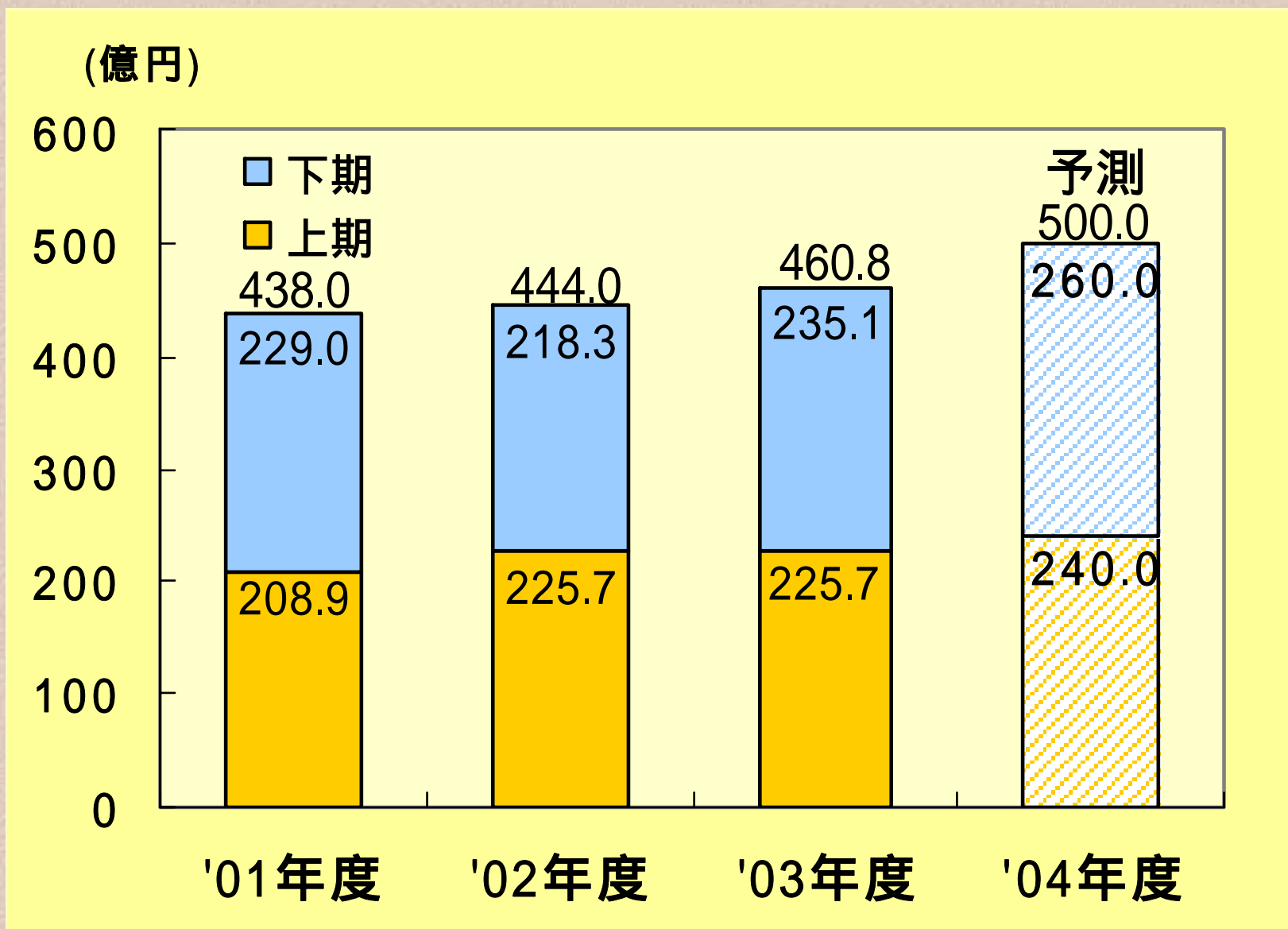


・ 2005年3月期業績予想

# ・ 2005年3月期業績予想

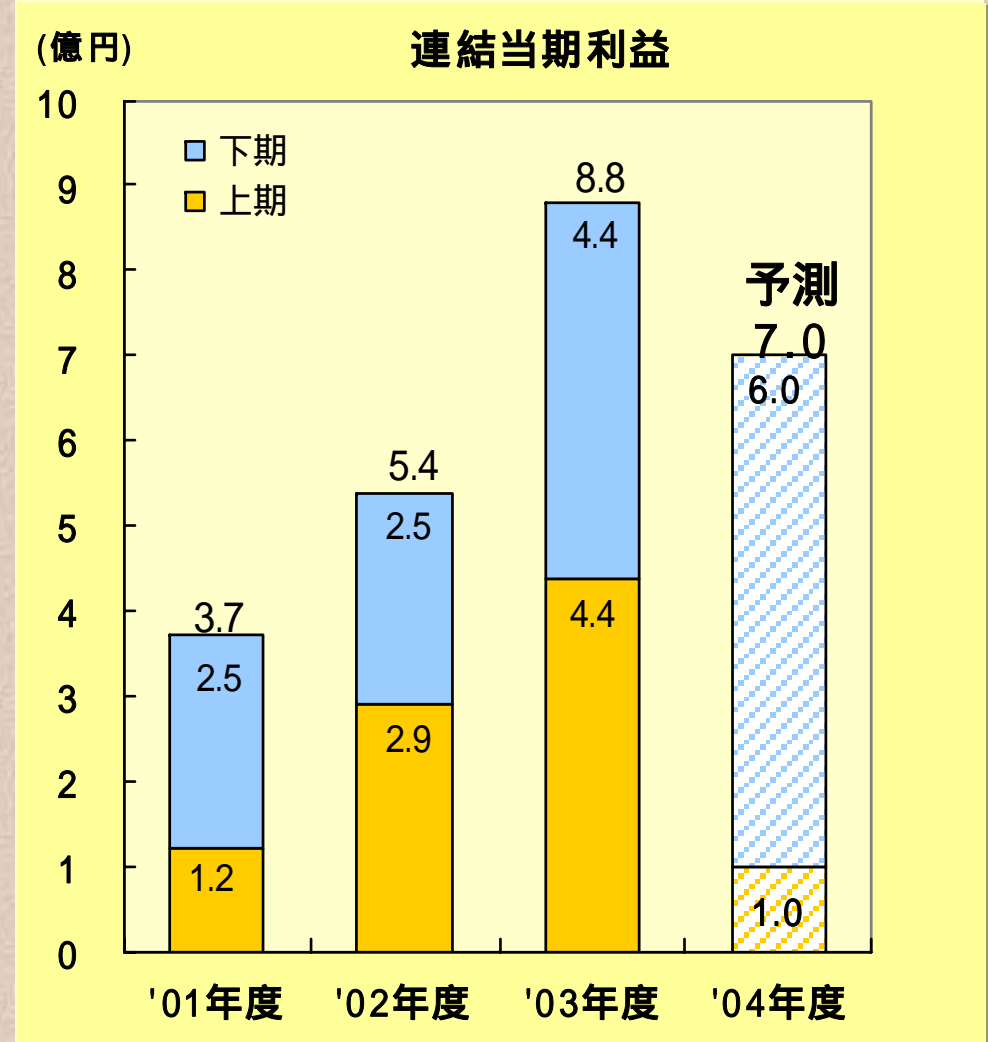
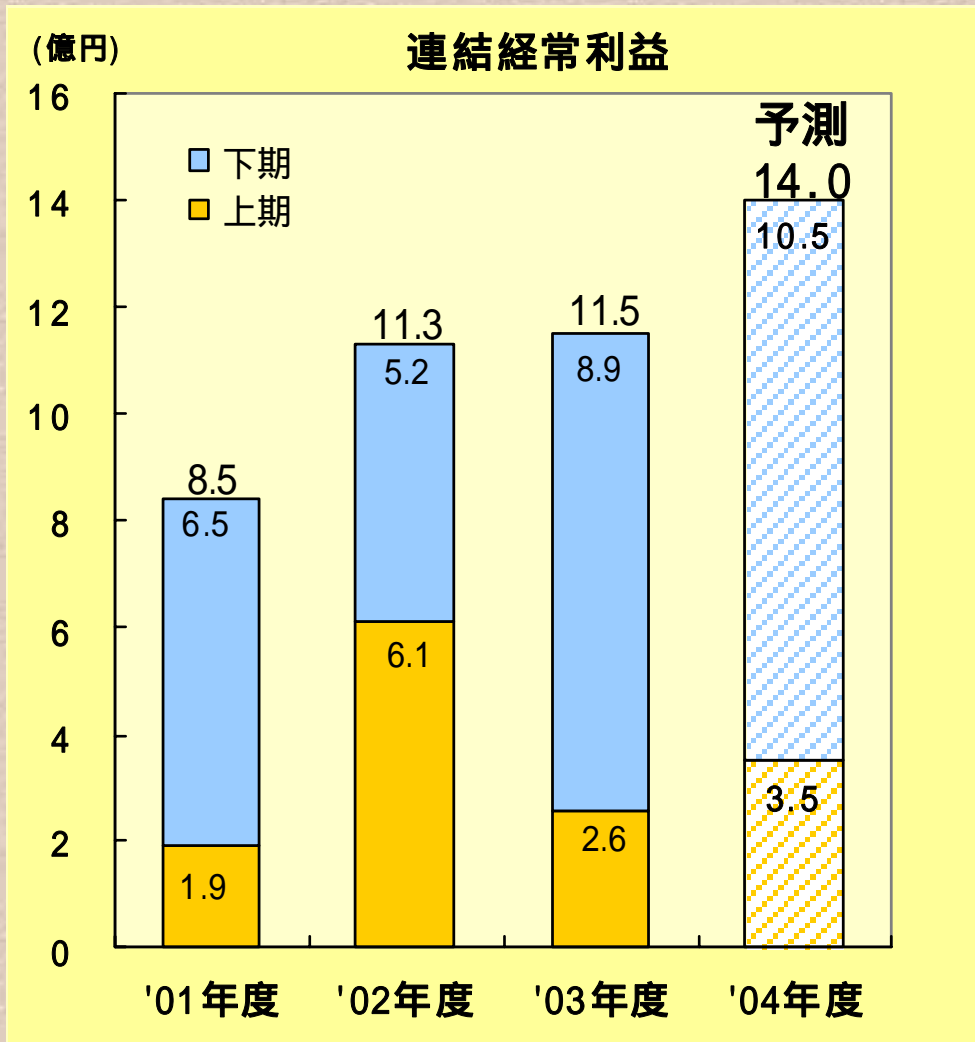


# 2005年3月期 連結売上高予想





# 2005年3月期 連結 經常利益、当期利益予想





## 2005年3月期 業績予想

(単位:億円)	2003年度通期実績			2004年度通期予想		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	460.8	431.8	1.07	500.0	470.0	1.06
営業利益	10.0	6.4	1.56	12.0	10.0	1.20
経常利益	11.5	8.3	1.39	14.0	12.0	1.17
当期利益	8.8	3.8	2.32	7.0	4.0	1.75



# ・2004年度の重点課題と取組内容



## 中期経営計画「V04」の達成状況

### 経営ビジョン 駆動系のグローバルプレイヤーを目指す

経営指標(連結)	'03年度実績	'04年度見通し	V04 ('05年3月目標)
ROA	3.4%	3.9%	7.0%以上
総資産回転率	1.59回転	1.63回転	1.75回転以上
営業利益率	2.1%	2.4%	4.0%以上
'06年度売上高	460億円	500億円	500億円以上



# 2003年度活動の成果と課題

## 成果

将来のビジネスの確保  
 '04年度連結売上高 500億円  
 (V04 売上高目標に対して、  
 2年前倒して達成見込み)

・アイエス精機株式会社とのアライアンス  
 の成果による日産圏外のビジネス拡大

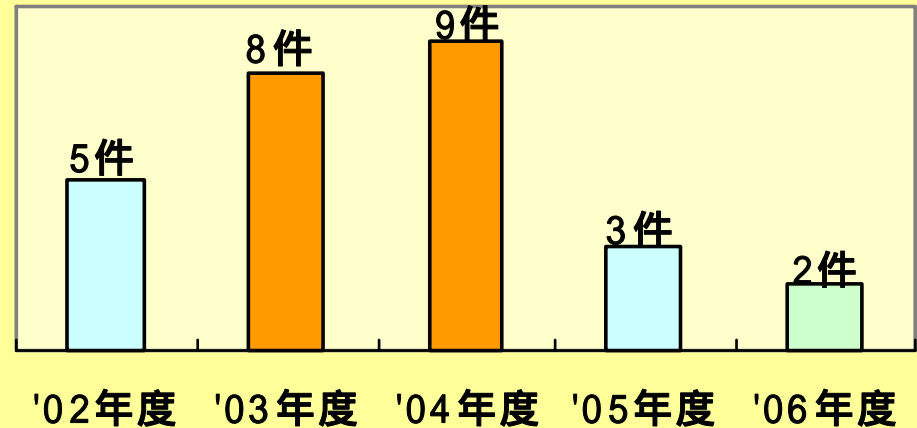
### 合理化活動

・コスト競争力と収益力の確保  
 合理化活動により、市場価格に追随した  
 生産コスト、購入品コストの達成

## 課題

- ・ '03年度、'04年度新規立上り製品集中
- ・ 設備投資、新製品立上げ費用の増加
- ・ 新製品の円滑な立上げと玉成  
 (目標品質、コスト、納期の必達)

新規立上り製品数



・ 更なる合理化活動推進のための  
 “もの造り”の再構築

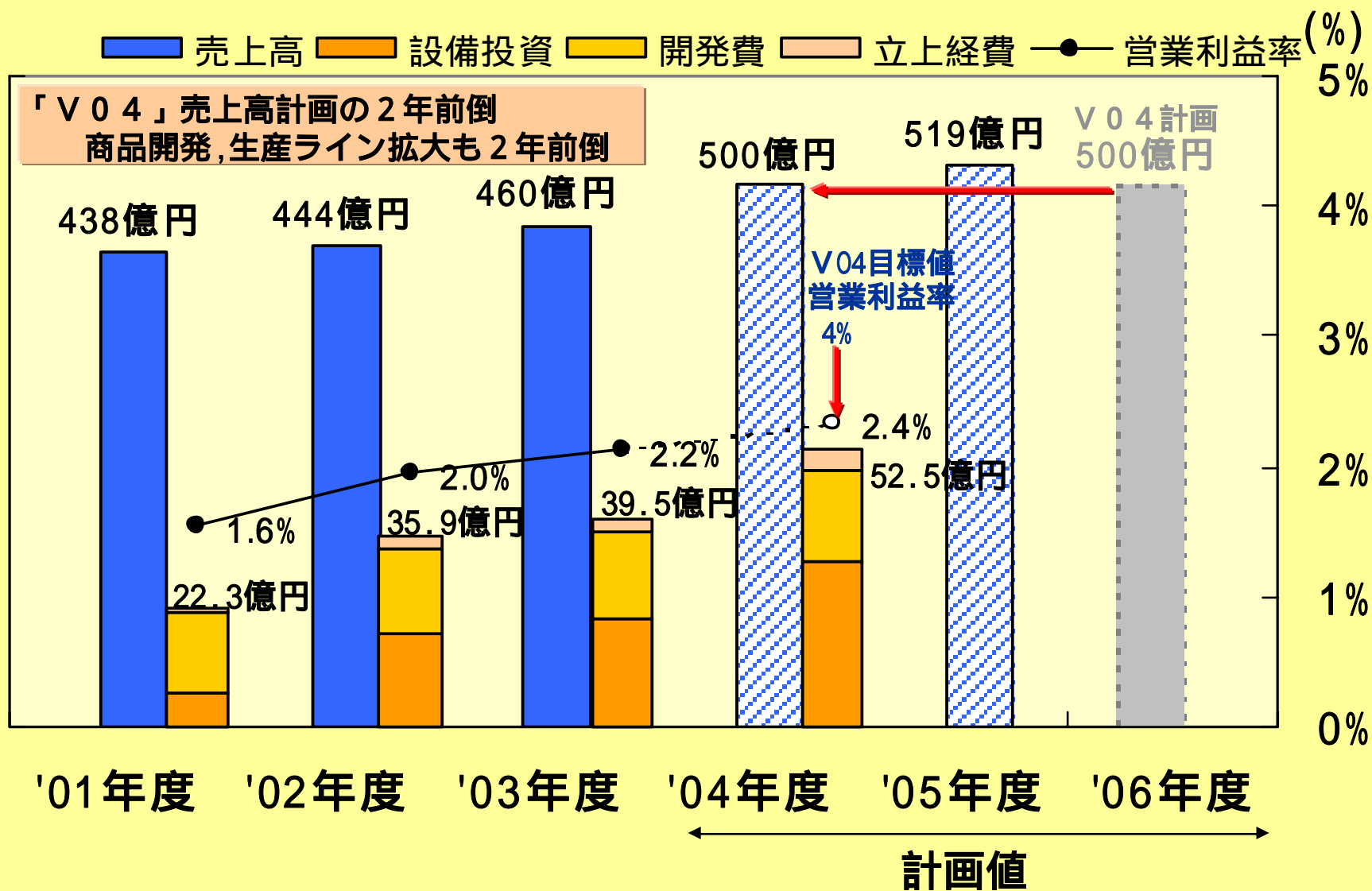


# 新規製品立上り実績及び予測

事業	商品名	立上り予測時期				
		'02	'03	'04	'05	'06
M/T	SUV用 T/M他				→	→
	商用車用 M/T		→			
四駆	SUVピックアップ T/F	→	→	→		→
	小型車用カップリング	→		→		
	ATV用デフユニット		→	→		
	その他			→		
AT・部品	ATユニット部品群	→	→	→	→	
	駆動系部品		→	→		
産業機械	農機用減速機	→	→	→		
	海外農機用 T/M				→	
	小型芝刈機用 T/M	→				
	フォークリフト用 ATM		→			
	バッテリーフォークリダクション			→		
	コンクリートミキサー用減速機			→		



# 設備投資と売上高、営業利益率推移(連結) 全事業





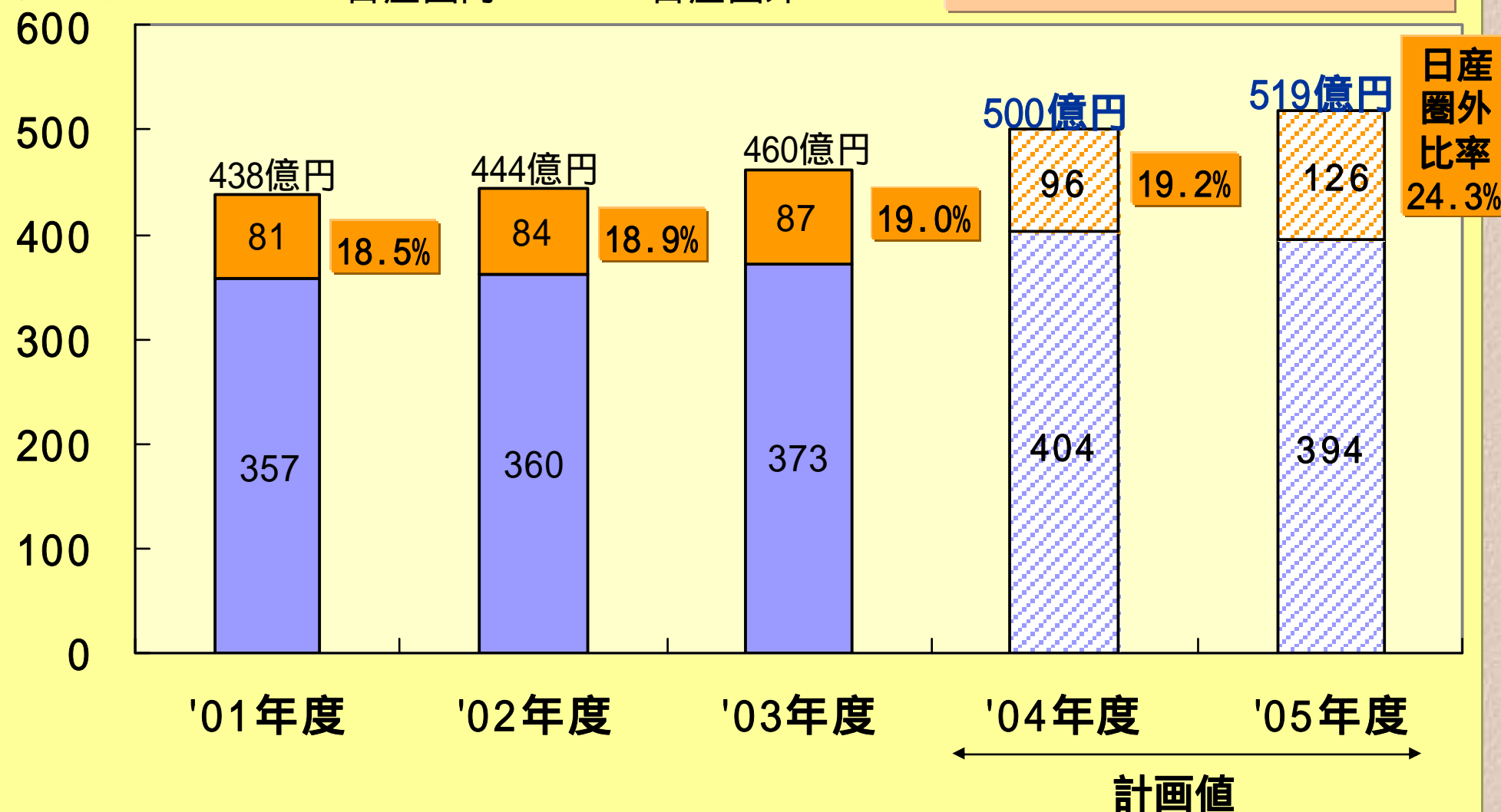
# 売上高推移(連結)

(億円)

■ 日産圏内

■ 日産圏外

日産圏外のビジネス拡大



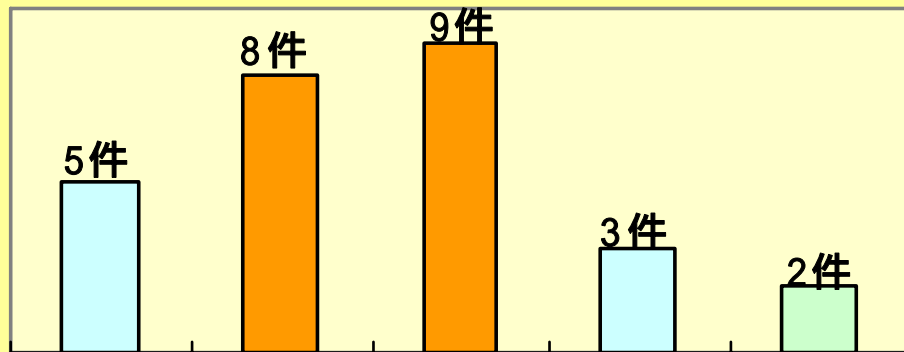


## 2003年度からの継続課題

### 課題

- ・ '03年度、'04年度新規立上り製品集中
- ・ 設備投資、新製品立上げ費用の増加
- ・ 新製品の円滑な立上げと玉成  
(目標品質、コスト、納期の必達)

新規立上り製品数



'02年度 '03年度 '04年度 '05年度 '06年度

- ・ 更なる合理化活動推進のための  
“もの造り”の再構築

将来ビジネスの  
確保、拡大

先行投資

- ・ 商品開発
- ・ 工法開発
- ・ 生産ライン拡大
- ・ 生産設備更新

コスト競争力  
の更なる強化

収益拡大



## 2004年度の重点課題

「**駆動系のグローバルプレイヤーを目指す**」  
中期経営計画「V04」の最終年度 目標達成への挑戦

### '04年度重点課題

競争力強化による事業価値の向上  
高品質、低コストを可能にする競争力ある「もの造り」再構築  
次世代商品を見据えた商品企画、新技術の実用化

新中期経営計画('05～'07年度計画)の策定

Unique Advancement in Human Resources and High Technologies

FUJI UNIVANCE CORPORATION

<http://www.uvc.co.jp/>

**将来見通しに関する注意事項**

業績見通し等の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社として判断した見通しであり、その正確性を保証するものではありません。また、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があることを、ご承知おき下さい。投資に際しての最終的な判断は、お客様ご自身がなされるよう、お願い致します。